

＜ラジオを聴くための工夫＞

ラジオは手軽に持ち運べて停電時にも使え、災害発生時等の情報収集のための有効な手段とされているため、日頃からラジオの受信状況を確認しておくことが大切です。

ラジオにはAM波によるものとFM波によるものがあり、ラジオ放送局の周波数も地域によって違います。

また、昼間と夜では聴こえるラジオ放送局の周波数が違うこともあります。

平時から聴取可能なラジオ放送局をひとつでも確認しておくことで災害発生時にはラジオを十分に活用することができます。

聴きづらい原因を見つけて、聴こえるラジオ放送局を探してみてください。

◇ラジオ周波数情報

ラジオ局	ホームページの周波数情報
NHK-AM・FM	https://www.nhk.or.jp/sapporo/station_info/channel.html 夜間は、東京 R1(594kHz)、秋田 R2(774kHz)の方が良く聴こえる場合もあります。
HBC	AM : http://www.hbc.co.jp/hbc/hbc-guide/radio-area/index.html FM : http://www.hbc.co.jp/radio/info/wideFM/ 2017年2月27日時点（上記は予告なく変更となる場合があります）
STV	STVのホームページから、ラジオ→ラジオの聴き方のページへ AM : http://www.stv.jp/radio/listenradio/am/index.html FM : http://www.stv.jp/radio/listenradio/fm/index.html
AIR-G'	http://www.air-g.co.jp/company/frequency/
FMノースウェーブ	https://www.fmnorth.co.jp/gaiyo/area.asp

◇ラジオ聴こえる工夫（聴きづらい原因を取り除く）

原因の解消策	原因の特徴
AM又はFMで聴いてみる	FM波は、AM波と比べビルやマンション内でも聴きやすい傾向がある。
ラジオを窓際に置いてみる	ガラスは電波を通しやすい。 鉄筋コンクリートは電波の強さを弱める。（通しにくい）
ラジオの向きを変えてみる	ラジオに内蔵されているアンテナは向きによって受ける電波の強さが違う。外付けアンテナも効果的。
ベランダに出て聴いてみる	総じて屋内より屋外の方が聞きやすくなるため聞き比べてみる。
家電製品から離してみる	家電製品から発生する雑音でラジオが聞こえにくくなっている可能性がある。家電製品の電源スイッチを切ったりコンセントを抜いたりして雑音の原因を探してみる。
周波数を変えて聴いてみる	AM波は、夜は遠方まで届くようになり道外や外国の放送が混信してくるため、聴きづらい場合は違う周波数を聴き比べてみる。
聴き比べてみる	小型ラジオは、内蔵アンテナも小さく受信性能が劣っている場合がある。携帯ラジオ・小型ラジオ・大型ラジオで聴き比べてみる。

◇インターネットでラジオを聴く

パソコンでは、URLを開く。

スマートフォンでは、専用アプリをダウンロードする。

種類及びURL	受信方法
NHKネットラジオ『らじる★らじる』 http://www3.nhk.or.jp/netradio/	NHKラジオ第1・第2・FMの番組を聴ける。
民放ラジオ『radiko』 http://radiko.jp/	民放ラジオの番組を聴ける。